

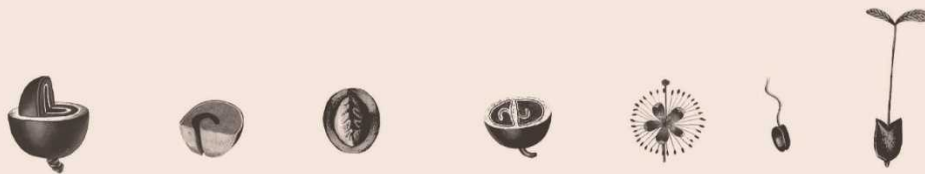
コーヒーが好きなすべての人に贈る
知られざる“豆から一杯まで”の物語

A FILM ABOUT COFFEE

ア・フィルム・アバウト・コーヒー

A FILM ABOUT COFFEE (FEATURING)

- | | | |
|------------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 1. STUMPTOWN COFFEE ROASTERS | 5. RITUAL COFFEE ROASTERS | 9. LITTLE NAP COFFEE STAND |
| 2. HANDSOME COFFEE ROASTERS | 6. COAVA COFFEE ROASTERS | 10. FUGLEN TOKYO |
| 3. BEAR POND ESPRESSO | 7. DAIBO COFFEE | 11. COUNTER CULTURE COFFEE |
| 4. BLUE BOTTLE COFFEE | 8. OMOTESANDO KOFFEE | 12. & MORE |



ニューヨーク、サンフランシスコ、ポートランド、そして東京。
世界を席巻するコーヒーカルチャーの今を描いたドキュメンタリー



監督: ブランドン・ローバー 出演: ダリン・ダニエル(スタンプタウン・コーヒー・ロースターズ)、マイケル・フィリップス(ハンサム・コーヒー・ロースターズ)、ジェームス・フリーマン(ブルーボトルコーヒー)、ケイティ・カーチュロ(カウンター・カルチャー・コーヒー)、デヴィン・チャップマン(コアヴァ・コーヒー・ロースターズ)、アイリーン・ハッシュ・リナルディ(リチュアル・コーヒー・ロースターズ)、大坊勝次(大坊珈琲店)、田中勝幸(ベアポンド・エスプレッソ)ほか (2014年 / アメリカ / 66分 / 16:9 / DCP) 提供: シンカ / メジロフィルムズ 配給・宣伝: メジロフィルムズ

www.afilmaboutcoffee.jp

Facebook
facebook.com/afilmaboutcoffee

Twitter
twitter.com/coffee_film_jp

Instagram
instagram.com/afilmaboutcoffee_jp

メジロフィルムズ

SYNCA

須賀川に映画館をもう一度

tette シネマ

2020.8.29 Sat 18:00

詳しくは裏面へ

(17:30 開場)

「本当においしいコーヒー」はどこから来るのだろうか？
 コーヒーがより身近に、より愛しく思えるドキュメンタリー



わたしたちの暮らしに欠かすことができなくなった“コーヒー”。赤い果実がどのようにして、目覚めの一杯になるのだろうか？ 生産、豆の選定、精製、焙煎、抽出……普段目にすることができないコーヒー豆たちのはるかなる冒険譚、from Seed to Cup(種からカップまで)を、本作は美しい映像で描きだす。自主制作映画でありながらも話題を呼び、世界30カ国108都市のコーヒー愛好者の手で上映会が開催、ついに本国アメリカでも配給が決まった。手がけたのは、自らもコーヒーゲークであるブランドン・ローバー監督。コーヒーへの深い愛情が育んだ本作は、琥珀色の神秘的な液体の奥深い世界へいざなう招待状。観た後は、コーヒーがより身近に、より愛しく思えるだろう。

LOVE AND PASSION

ベッドから出たくない朝も
 コーヒーなら飲みに行ける。

コーヒーが輝く5分間。
 貴重で美しい喜びの時間だ。

生産の現場に行くとみんな驚く。
 コーヒーは生き物だと実感するから。

コーヒー愛好家は
 「セクシー」でなくては。

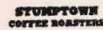
飲む人にはおいしいコーヒーで
 幸せにしてあげたい。



EILEEN HASSI RINALDI
 アイリーン・ハッシ・リナルディ
 リチュアル・コーヒー・ロースターズ
 オーナー



JAMES FREEMAN
 ジェームス・フリーマン
 ブルーボトルコーヒー
 創業者



DARRIN DANIEL
 ダリン・ダニエル
 スタンプタウン・コーヒー・ロースターズ
 生豆バイヤー



KATSU TANAKA
 田中勝幸
 ベアブランド エスプレッソ
 オーナー/バリスタ



KATIE CARGIULO
 ケイティ・カージュロ
 カウンター・カルチャー・コーヒー
 2012年全米バリスタチャンピオン

究極のコーヒーを追い求める人々の熱き情熱と仕事ぶりを描く



世界を席卷するコーヒーのニューウェーブ
 その源流は日本の純喫茶にあった

コーヒーをつくる人が百人いれば、百通りのこだわりがあり、
 飲む人が百人いれば、百通りの好みがあります。

大坊勝次
 大坊珈琲店(2013年閉店)オーナー

ニューヨーク、サンフランシスコ、ポートランド、東京……本作は、世界のコーヒーカルチャーを牽引する都市を舞台に、今、最も重要なコーヒーのプロフェッショナルたちの熱き仕事ぶりと哲学を追う。すべての生産過程が味を左右するコーヒーの世界で、日々、究極のコーヒーを追い求める人々の姿はまるで求道者のような。従来の“質より量”のコーヒー業界のカウンターとして登場した「スペシャルティコーヒー」。アメリカ・ポートランドにある「スタンプタウン・コーヒー・ロースターズ」と、そのパートナーであるルワンダの生産者たちのダイレクトトレード(直接取引)から生まれた、奇跡ともいえる画期的な実例が物語るように、スペシャルティコーヒーの担い手たちは、新たな経済の仕組みを息吹かせ始めている。

一方で、日本進出が話題になった「ブルーボトルコーヒー」創始者のジェームス・フリーマンは、自らのコーヒーの原体験とサイフォン・パーへの熱い思い、そして日本の純喫茶への強い憧憬を語る。東京のシーンで映し出されるのは、2013年に多くのファンから惜しまれつつも閉店した、東京・表参道の「大坊珈琲店」。オーナーである大坊勝次がコーヒー1杯を淹れる研ぎ澄まされた所作は美しく、今はなき名店の佇まいが再びスクリーンに立ち現れるようだ。

ニューウェーブから日本の純喫茶まで、ブームにはとどまらない大きなコーヒームーブメントの“今”を鮮やかに浮き彫りにするドキュメンタリー、それが『A・フィルム・アバウト・コーヒー』だ。

WHAT IS
 SPECIALITY COFFEE?
 スペシャルティコーヒーとは？

定義は人によって異なるが、「風味が良く、飲む人がおいしいと満足する最高のコーヒー」というのが共通の考え。豆からカップまで品質管理が徹底しており、産地や栽培方法など、全ての詳細がわかっていることが必須。

事前にチケットをお求めください。

定員 50名

金額 ひとり500円(1ドリンク付)

会場 須賀川市民交流センター1F たいまつホール

8月8日より tette オフィスにて発売開始

お問い合わせ先 市民交流センター企画課 TEL 0248-73-4407



- Coffee (HOT)
- Coffee (ICED)
- Juice (apple)

Ordinary Coffee の映画に出てくる国の豆を使用した
 スペシャルティコーヒーと一緒に楽しみください。